

【同じヘッドアップでも大きな違いが！】意識レベルと血圧の変化



脳卒中や頭部外傷により、
頭蓋内圧が亢進している患者さんに対するヘッドアップは、
頭蓋内圧を下げる効果があることが知られています。

この研究では、頭部外傷の患者さんにヘッドアップを実施し、
意識レベルと血圧から脳血流への影響を調査しています。

ヘッドアップ直後と2時間後に意識レベルと血圧を測定し、
その変化をみたところ、30度ヘッドアップは、
意識レベル・血圧とも有意に改善しており、
頭蓋内圧を下げるだけでなく、脳血流に対する効果を示唆するものでした。

一方で、脳梗塞患者さんでは、
ベッドアップをせず、ベッドフラットのほうが脳血流を改善すると
推奨する報告もあります。

同じ脳の障害でも、病型・病態をしっかりとアセスメントし、
離床方法を選択することが重要です。

下記原典では、
詳しい介入プロトコルや意識レベル・血圧の結果を見ることができます。

是非、ご覧ください。

Sumirah Budi Pertami, Sulastyawati, Puthut Anami. Effect of 30° Head up position on intracranial pressure change in Patients with head injury in surgical ward of General Hospital of Dr. R. Soedarsono Pasuruan. Public Health of Indonesia. 2017,89-95

<http://stikbar.org/ycabpublisher/index.php/PHI/article/view/131#:~:text=Conclusion%3A%20The%20head%20was%20a%20significant,in%20patients%20with%20head%20injury.>

この情報が皆さんの診療に役立つことを願っております。